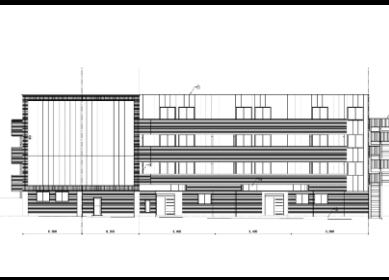


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宮澤様貸施設新築工事	階数	地上4F
建設地	藤沢市柄沢土地区画整理地35街区3-1、3-2	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年12月21日
敷地面積	1,854 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)横浜支社
建築面積	650 m ²	確認日	2015年12月22日
延床面積	2,510 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)横浜支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・室内環境への配慮を行う。 ・サービス性能の向上に努めている。 ・資源、マテリアルの確保に努めている。	その他 0	
Q1 室内環境 ・高い昼光率を確保している。 ・屋光制御への配慮を行う。 ・換気性能の確保に努めている。	Q2 サービス性能 ・個室面積は10㎡以上で広さ感に配慮している。 ・耐用年数の長い、部品、部材を採用している。 ・防汚性の高い、建材を採用し建物の維持管理に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・50%を超える外構緑化を行う。 ・空地率に配慮し、風の通り道を確保している。
LR1 エネルギー ・外壁ガラスウール及び、複層ガラス、屋根面押出法ポリスチレンフォームの採用で、建物の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・節水への配慮を行っている。 ・解体時におけるリサイクル性に配慮している。 ・防水工事のプライマー採用など、化学物質の使用削減に努めている。	LR3 敷地外環境 ・隣棟間隔を確保し、建物後流域での風の回復促進に配慮している。 ・地表面対策面積率が45%を超える。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される